

もり りんやちよう
〈森林のお仕事紹介コーナー（農林水産省林野庁）〉

令和元年 7 月

国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



【南信森林管理署 下諏訪森林事務所】

首席森林官 有賀 茂

下諏訪森林事務所は、長野県の中央に位置する諏訪湖に面した下諏訪町にある東侯国有林及び上伊那郡辰野町の横川国有林五、二六四haを管理しています。

管内国有林は人工林が七割で、年間約一立方メートルの木材生産事業、森林育成事業、有害鳥獣駆除、ニホンジカ対策のほか、地域の関係者と幅広く連携し、多様性を高める森づくりに取り組んでいます。

管内の八ヶ岳中信高原国定公園には、国の天然記念物「八島ヶ原湿原」、霧ヶ峰、ビーナスラインや和田峠から諏訪湖へ至る旧中山道の宿場町、県内一の湧出量の温



霧ヶ峰ビーナスライン

泉もあり多くの観光客で賑わいます。

また、黒曜石は全国有数の産地であり、東侯国有林内にある星ヶ塔遺跡からは、縄文時代に黒曜石から作られたヤジリも多数発見されています。下諏訪町の博物館に展示されています。東侯国有林は、江戸時代には高島藩の藩有林であり、古くから地域との関わりが深く、七年に一度行われる諏訪の御柱祭において、将来にわたってモミの大木を確保する必要があることから、平成十四年に地域伝統文化を支える森づくりを目標とした「御柱の森」を設定し、毎年御柱の森づくり協議会と地域の皆様とともに



木遣いの声が響く中での御柱の森 植樹祭

に植樹祭、モミの保護活動を行っています。

横川国有林のある上伊那郡辰野町は、シニア世代が住みたい田舎部門で、全国一位となった緑あふ



横川溪谷の光輝く紅葉

れる町です。中でも紅葉の美しさでカメラマンが多く訪れる景勝地「横川溪谷」には、天然記念物の蛇石、三級の滝など、古くからこの溪谷を代表する名勝があります。

■未来の担い手へのメッセージ
森づくりは、その山に応じた技術を投入していくことが重要です。

山の中へ入ると新緑の木々や草花、風の音、川の流れ、土の匂いが、いろいろなことを語りかけてきます。山のことは、山が教えてくれるものなのです。

健全な森林づくりを進めるためには、資源情報やドローンなどの最新技術の活用と、積み重ねた経験に基づく多面的な視点が大切です。

林業は自然相手の仕事であり、若者が挑戦する価値は、十分あると思います。



御柱の森
モミの大樹の前で筆者

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



大北森林組合

なかぞと こういちろう
中里 幸一郎
(二〇一八年入社)



「緑の雇用」研修 2 年目

■事業の概要
請負事業・森林環境保全整備事業
発注者・中信森林管理署

この現場は、鹿島槍国有林で、八・二三鈔の下刈、除伐二類及び獣害被害防止のための忌避剤塗布の作業です。事業規模は小さいのですが、山の手入れをしつかりや

ることにより、将来良質の木材を生産することに繋がる基本となる作業であり、これからも基本を大切に健全な森づくりを通して、森林の多面的機能の発揮と林業の成長産業化のために貢献したいと思っています。

■現場での役割、魅力

松くい虫被害、間伐、下刈りなど、道具一つに燃料を背負って入る現場に多く出ています。

気温が上がってくるにつれて始業時間も早くなり、常に日の出と共に動き出すなど、概日リズムに沿って過ごす毎日は気持ちが良いです。

一本一本違った木、場所毎に違うシチュエーションで最適な仕事の仕方を考え、色々な先輩たちの手法を学びながら自分自身の技法を導き出すために、常に脳をフル回転させている毎日はとてもチャレンジングで自分に合っています。これだけ一つの「正解」がなく、自分の頭で考える大きな余地が与えられている仕事は僕が知る限り他にはなく、それが一番の魅力だと思っています。

■森林・林業の世界に入ったきっかけ

自分にとって何か意味のある仕事をしたいと思う中で、漠然と林業に興味を持っていたので、数年間は収入面の不安から一步を踏み出せませんでした。ただ最終的にはやはり身体を使い、自然の中で、長期的な価値を生み出す、これ以上の仕事はないと思うに至りました。子供も生まれて親父になつた時に、今のタイミングしかないと考え、林業労働財団の就業支援を経て大北森林組合に雇ってもらいました。



先輩から草刈機操作の技術指導

■未来の担い手へのメッセージ
生きていく以上好きなことをやるのが一番だと思います。林業で



アカマツの玉切り作業

あれ何であれ、好きだと思つたら、あるいは興味があれば、きつと飛び込んでみるのが良いのではないのでしょうか。

ネイティブアメリカの言葉に、「全ての意思決定の際には七世代先の子供たちにどういう影響があるかを考えよ」という言葉があります。自分の今の仕事には大いに改善の余地があることは認識しているものの、同時に僕は誇りも持っています。そう言える仕事って、なかなか他にはないのでないでしょうか。学ぶことも多いし、全力で取り組める良い仕事です。

受注して下さる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

「林業土木業界からの便り」



株式会社

長瀬土建

荒井

幹也

(二〇一五年入社)



■業務の概要

請負事業 平成二十九年度 西ウ

レ2復旧治山工事

発注者 飛騨森林管理署

本工事は、紅葉で有名な飛騨北
部方面と郡上市を結ぶ幹線道路、



残存型枠による谷止工の様子

別名「せせらぎ街道」（県道七十三号線沿い）の土砂流出を防ぐ谷止工の施工と、近接する崩壊地の復旧治山工事です。

■現場での役割、魅力

今回の現場では谷止工（残存型枠）及び山腹工二箇所の現場に担当技術者として携わりました。今まで完成したものは見ていましたが、どのような段階を踏んで完成していくのか分かりませんでした。順序立てて施工、管理及び段取りを理解しつつ仕上がっていく過程では、苦労も沢山ありました。が、終わってみれば、その苦労も

自分の身になりスキルアップしたと思えます。

自分が携わった工事の構造物等の出来映えの良さ、完成時の達成感に格別で、完成後には工事現場付近の住民の方々に言われる「良くなった」「ありがとう」の言葉をいただくと同様な苦労が払拭され、やって良かった、次回も頑張ろう！という気持ちにさせられます。そんなときにやりがい・魅力を感じます。

■林業土木の仕事に

入ったきっかけ

建設業に入ったきっかけは、長瀬土建の会社見学にて社長からいただいた、『WOOD JOB』という映画です。

その映画の内容とは、大学受験に失敗した主人公が、興味本位で一年間の林業研修プログラムに行き、そこで林業の素晴らしさを知るといふものです。

この映画に共感し、林業及び公共工事に携わる仕事をしたいと思入社したのがきっかけです。

■未来の担い手へのメッセージ

学生では分からない色々な職種

があります。正直、長瀬土建に入って自分が思っていた仕事とは違うこともありました。

しかし、仕事をしていく中でこんなこともやるんだと驚きました。就職し仕事をしてみないと分からないので、まずはやってみることからはじめましょう。それが自分の経験になり成長に繋がります。

自分の造ったものが、森林を守り地域を守る、そんな意味ある仕事にやりがいがあります。建設業に興味のある人は、一緒に盛り上げていきませんか。



完成した谷止工